

東北の水産の発展へ！

グループ名：八戸水産業グループ

取 材 先：武輪水産（株） 武輪 俊彦 社長（青森県八戸市）

八戸は、イカの水揚げが日本一。また、サバの主要漁場の中で日本最北に位置し、脂ののったサバが水揚げされることが特徴。
武輪水産（株）は、昭和 23 年の創業以来、八戸港産の新鮮な原料をもとに加工品製造を行ってきた、創業約 70 年を誇る地元企業。

●震災の被害は？

八戸にあった 3 つの工場のうち、第一、第二工場は高台にあったため被害に遭わなかったが、海に近い場所にあった第三工場は壊滅的な被害を受けた。やむを得ず、冷蔵庫のものを全て運び出し、被害に遭わなかった冷蔵庫に移し替えた後、工場は解体した。工場内にあったフォークリフトや魚介類を焼くための機械も全く使えなくなった。震災後、厳しい状況の中、雇用の維持を最優先に考え、第三工場で働いていた 35 名の従業員を、第一、第二工場への振り分けや勤務時間を変更し、1 名の従業員も減らしていない。

●グループ補助金を活用された感想は？

加工業、流通業、運輸業それに漁業関係者まで含めた八戸水産業グループを商工会議所中心にグループ化し、グループ補助金を申請し、昨年 8 月に交付決定を受けた。
これで第三工場復旧の道筋が見えてきた。また、中古製品や修理に要する費用を補助対象にしてもらったことは非常に大きい。新品に限定されると、調達できない、又は調達できたとしても相当な時間がかかっただろうと思う。
昨年 11 月に着工され、今年 3 月末には第三工場が完成する予定。

●復興への思い

第三工場の復旧が見え、社内の雰囲気明るくなった。
今後は、他の被災地域とも連携しながら、機能を補完し合い、東北の水産業の維持・発展に貢献していきたい。



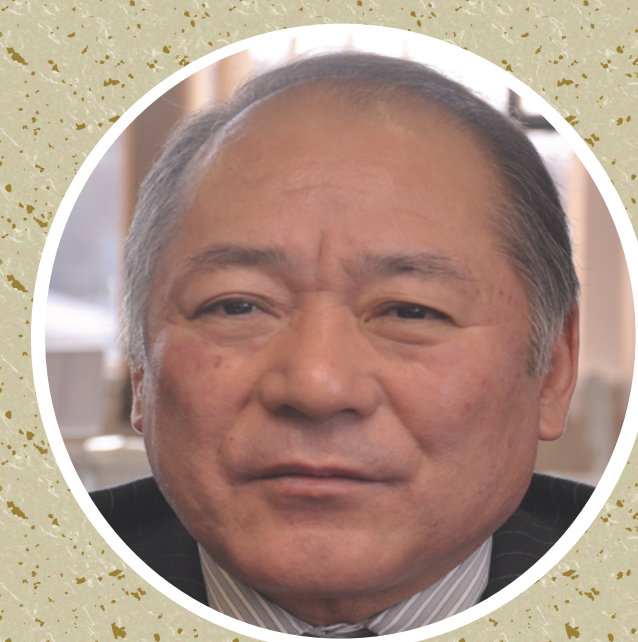
建設が進む第三工場

復旧を通じて地元に貢献を！

グループ名：紙パルプ製造業グループ

取 材 先：八戸通運（株） 田中 信明 社長（青森県八戸市）

八戸通運（株）は、昭和 18 年に創業して以来、陸上運送、海上運送、引っ越しサービス、観光サービスなど総合物流企業として、地域とともに歩み、創業 70 年を誇る地元企業。



●震災の被害は？

震災では、建物、トラック、リフト、けん引車などが津波被害に遭った。特に建物は、営業所と整備工場が 2 棟並んでいたが、全て使えなくなった。工場勤務従業員 150 名は避難し、無事だったが、工場内には瓦礫が積み重なり、これからの仕事はどうなるのか、と立ちすくんでしまった。しかし、「一歩ずつ進むしかない」と社員総出で瓦礫を処理。三菱製紙（株）の敷地内に仮設事務所を建て、昨年 5 月下旬から活動を再開した。



紙製品を運ぶフォークリフト



仮設事務所

●グループ補助金を活用された感想は？

三菱製紙（株）の関連企業が集まりグループを構成し、グループ補助金を申請した。
当社では、車両修理工場の建て替え、工場内のリフト・けん引車の購入に補助金を充当し、今年 3 月までには全て揃う予定。
正直、行政の支援は今まで身近に感じていなかったが、今回、本当にありがたさを身にしみて感じている。当初、考えていた以上に早く業務が戻りつつある。
仕事の注文も早い段階で入りだしている。

●復興への思い

地域経済が震災前の状態に戻るまで、どれだけかかるか全くわからない。
それでも我々としては、一日も早い復旧を通じて、地元に貢献していきたい。